

4—59—0

(包紙)

「

田中曾兵衛

大谷九右衛門様 鈴木順兵衛

御用答」

「封」

4—59—1

猶以先達^而之御書付より引替

可申旨致承知候、可然取計

可申候、くれ／＼此度被仰下候趣

意一々具^ニ致承知候、厚く

申談し自是御左右可申候、以上

去月廿三日之御札相達

致拝見候如被仰下未

甚暑^ニ御座候处弥無

御障被成御勤珍重之義^ニ

御座候、誠^ニ先日^者御出府

被成懸御目荒々ながら

御様子^茂承り御大慶と

被入御念御挨拶被仰下

却^而致迷惑候其節

御詔候之通御帰着早々

非細之儀可被仰下之旨

然ル所御用船之後何角

御用御取紛^ニ付御延引被成

候之趣尤相心得申候

一々御返答^{ニ者}およひ不

申候得共具^ニ被仰下候趣

委細致承知候、早速木村^{ニ者}

申談し度之处此間内

引込出勤無御座候^ニ付得

不申談と出勤次第可申談候間

左様^ニ御承知可被下候、則

次兵衛御差出し被成候付致

対面様子承り申候、御越

被成候御書付式通共_ニ
預り置申候、早々申詣候_而
尚又従是可申進候間
左様_ニ御心得可被成候、此度
被仰越候趣甚都合_茂宜
被存候付何分_与得及
熟談とふそ首尾いたし候様_ニ
致出精度御座候、先
急々御答迄申進候、書
外意味次兵衛へも申
聞置候間御聞可被下候
中々以一朝一夕_ニ参る事_{ニ而}
無御座候間其御心得專一
随分御再編_ニテ万端
差支不申様_ニ御心配等
被成度候、恐惶謹言
鈴木順兵衛
七月五日
田中曾兵衛
□□（花押）
大谷九右衛門様